

米国経済・株式市場情報

「二重の引締め」 開始決定で今後の米国株は？

FRBは利上げ開始後、短期間でQT開始、市場への影響は不透明

- FRB(米連邦準備制度理事会)は0.5%の利上げとQT開始を決定。過去には利上げ開始から約2年後にQTを開始。今回はQT開始までの期間が短く市場への影響は不透明。
- リスク回避姿勢が強まりグロース株などが下落する場面では、バリュー・高配当株へのリスク分散の動きも。

～利上げ開始後、短期間でQT開始を決定～

● FRBは政策金利0.5%の引き上げとバランスシート縮小(QT)開始を決定しました。エネルギーなどの供給懸念により加速するインフレへの対応を急ぐ姿勢を示しています。インフレ圧力の高まりにより米長期金利が上昇する局面では、ハイテク株などグロース株が大きく下落する場面が増えてきています(図表1)。利上げと同時にQT開始が決定されたことから、過剰流動性相場に終止符が打たれ、株価の調整もあるのではないかと市場では警戒感が高まっています。

～過去の局面では比較的堅調に推移～

● 利上げとQTが同時に行われたのは、2015年～2017年のケースがあります。この時はバランスシート残高を維持した状態で、2015年12月に利上げを開始、その後2017年9月にQTを開始しました。米株は利上げ開始前後に調整したものの、好調な企業業績等を背景に堅調に推移し、グロース株は米中貿易摩擦激化(2018年9月)による調整まで上昇ペースが加速しました(図表2)。しかし2年近くかけて慎重にQTが開始された前回に比べ、利上げ開始(3月)から短期間でQT開始と「二重の引締め」が、どの程度の影響を及ぼすのかが定かでないとの見方が大勢を占めています。

～不透明感が漂う相場ではリスク分散が必要～

● 米長期金利が上昇する場面で大幅に下落する傾向があるグロース株に対し、バリュー・高配当株は比較的落ち着いた値動きで推移してきました(図表1)。投資家の不安心理を示すとされるVIX指数が上昇する局面、特に直近6カ月間ではグロース株はバリュー・高配当株と比較しても大きく売られる傾向があります(図表3)。コロナ禍からの回復により企業業績は、比較的堅調であるものの、短期間で相次ぐ利上げとQTの開始と市場に不透明感が高まっている現状において、一部投資家の間にはバリュー・高配当株への資産配分を高め、リスク分散を図る動きが出始めているようです。

図表1：米長期金利と米国株の推移



図表2：2015年～18年(利上げ&QT)の米国株



図表3：直近のVIX指数と米国株の推移



出所) 図表1～3はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>